研究課題名

IgA 腎症に対する医師と患者の選好研究：離散選択実験

（1）研究の概要

研究期間　　：倫理委員会承認後（2026 年 9 月 19）～2027 年 12 月（予定）
研究代表者　　：新座志木中央総合病院　腎臓内科　部長　生方政光
実務担当責任者：新座志木中央総合病院　腎臓内科　部長　生方政光

（2）研究の対象

対象：**フェーズⅠ　認知デブリーフィング／Web インタビュー調査**
腎生検により IgA 腎症と診断され、研究の選択基準を満たす患者 1 名
フェーズⅡ　本調査／DCE Web アンケート調査
フェーズⅠとは異なる IgA 腎症患者 1 名

（3）研究の目的

本研究は、日本の IgA 腎症患者および IgA 腎症診療に関わる医師を対象として、離散選択実験（Discrete Choice Experiment：DCE）を用いた Web 調査を実施し、IgA 腎症治療に関連する複数の治療属性に対する選好構造および各属性の相対的重要度を定量的に明らかにすることを目的とする。

（4）研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

DCE では、治療における複数の属性（例：透析、感染症リスク）に対する選好を測定するために、選択カードを用いて仮想的な治療選択肢を提示する。先行研究では 1 枚の選択カードに含める属性数は 5～7 個が望ましいとされている。

本研究で採用する DCE デザインは、透析、感染症リスク、その他のリスク、治療方法、服薬頻度および治療要件の 6 属性から構成される。水準数は、透析、感染症リスク、その他のリスクおよび治療要件では各 3 水準、治療方法では 5 水準、服薬頻度では 4 水準とする。治療方法および服薬頻度については、臨床的に想定される組み合わせを踏まえ、治療方法に応じて選択カード上に提示可能な服薬頻度を設定する。選択課題は、2 つの仮想的な治療選択肢から 1 つを選択する二択形式とし、強制選択法を用いる。

選択カードに提示する属性および水準の組み合わせは、DCE における実験デザインに基づいて作成する。具体的には、フルプロファイルや部分実施要因法、バランスの取れた不完全ブロックデザインを検討し、各 DCE タスクで表示する属性と水準の異なる組み合わせを決定した。デザインは、水準効果の推定効率を最大化するとともに、回答者の負担を軽減し現実的ではない組み合わせを除外するように設計した。

DCE の総選択タスク数は 42 タスクとし、3 ブロックに分割する。各回答者には 1 ブロック、すなわち 14 選択タスクを提示する。実験デザインの具体的な構成（属性および水準の組み合わせ、提示順のランダム化方法等）の詳細は、デザインに関する仕様書において規定する。

（5）個人情報保護について

本研究では、フェーズⅠおよびフェーズⅡで取得された情報を研究目的で利用する。株式会社マクロミルは負担軽減費支払いのためのメールアドレス等の個人情報を取得し、同社が管理するサーバ

ーにて保存する。

（6）研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

（7）お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

医療法人社団東光会　新座志木中央総合病院
〒352-0001　埼玉県新座市東北一丁目 7 番 2 号
TEL　：0570-06-7211（代表）
担当者：腎臓内科　生方政光